ご使用前に必ずお読みください

BlackBerry® Bold™ 9900 をご使用いただくにあたってのドコモからのお知らせ

◆目次

このたびは、「BlackBerry® Bold™ 9900」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、あるいはご使用中に、本資料およびその他の添付資料をよくお読みいただき、正しくお使いください。本資料に不明な点がございましたら、本資料に記載のお問い合わせ先までお問い合わせください。

BlackBerry Bold 9900 セットの同梱物について

●本セットの同梱品は下記の通りです。

BlackBerry Bold 9900 本体 <Charcoal Black>
Blackberry Bold 9900 Battery Door
BlackBerry USB Power plug
BlackBerry USB Cable Micro, 1.2m
BlackBerry J-M1 Battery
BlackBerry Stereo headset, Black
BlackBerry Bold 9900 Pocket
MicroSDHC カード 4GB(試供品)
BlackBerry Polishing Cloth(試供品)
書類一式

BlackBerry 端末のご使用にあたって

- BlackBerry 端末は無線を使用しているため、トンネル･地下･建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所および FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 5 本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- BlackBerry 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としてしか聞きとれません。
- BlackBerry 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状況の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で BlackBerry 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。BlackBerry 端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客さまがアクセスするサイトまたはインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客さまの位置情報が、インターネットを経由して外部に発信され利用される可能性があります。このため、アクセスするサイト、インストールするアプリケーションなどの提供元、位置情報の利用の有無および動作の状況などについて十分にご確認の上、ご利用ください。

SIM ロック解除について

この BlackBerry 端末は SIM ロック解除に対応しています。SIM ロックを解除すると他社の SIM カードを使用することができます。

・SIM ロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
・別途 SIM ロック解除手数料がかかります。
・他社の SIM カードをご使用になる場合、 ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
・SIM ロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

BlackBerry Bold 9900 のご使用にあたっての注意事項（必ずお読みください）

●メールやアプリケーションなど、お客様があらかじめ設定された BlackBerry 端末の機能に係る情報を最新化するとともに、常に接続状態を維持できるよう定期的に Research In Motion 社のサーバにアクセスします。この通信は、ブラックベリーサービス契約の有無にかかわらず、お客様がドコモ UIM カードを BlackBerry 端末に挿入し電源を入れると、電源を切らない限り一定の間隔で繰り返されますが、これによって発生した通信料は、お客様のご負担となりますのでご注意ください。音声サービスのみのご利用を希望されるお客様は、BlackBerry 端末のオプション設定で「データサービス」をオフにしてください。
●お客様が、ご自身のメールアドレスを登録された BlackBerry 端末を第三者に譲渡される場合は、必ず本書最終ページの「総合お問い合わせ先」（ドコモの携帯からは 151、一般電話などからの場合 0120-800-000)にご連絡ください。一旦ブラックベリーインターネットサービスまたはブラックベリーデュアルサービスをご契約いただくと、BlackBerry 端末には、お客様固有のメールアドレスが記憶されます。これにより、BlackBerry 端末は、お客様のドコモ UIM カード以外のドコモ UIM カードを挿入した場合でも、一度登録されたお客様のメールアドレスにて通信を行うことが可能となります。BlackBerry 端末に記憶されたメールアドレスは、お客様からのご申告に基づき当社が削除致しますので、第三者にお客様のメールアドレスを利用されることを防止するため、必ず本書最終ページの「総合お問い合わせ先」にご連絡ください。
●他の FOMA 端末で登録したドコモ UIM カード内データ（電話帳など）を BlackBerry 端末で削除した場合、一部情報が残る場合があります。ドコモ UIM カード内データを全て削除する場合は、他の FOMA 端末から削除を実施して下さい。
●弊社故障取扱窓口では、BlackBerry 端末内に登録された電話帳などのデータ移行はできません。弊社故障取扱窓口に来店される前に、BlackBerry Desktop Manager のバックアップ機能にてパソコン側へデータを保存していただくことをお勧めします。また、画像撮影した静止画や動画、音楽などのデータは microSD カードに転送・保管していただくことができます。

安全上のご注意　必ずお守りください。

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

区分	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

BlackBerry 端末、バッテリー、アダプタ（チャージャー含む）、ホルスター、ポケット、バッテリカバー、ドコモ UIM カードの取り扱いについて

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

BlackBerry 端末に使用するバッテリーおよびチャージャーなどは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因になります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に BlackBerry 端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
2. **BlackBerry 端末の電源を切る。**
3. **バッテリーを BlackBerry 端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災, やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

BlackBerry 端末をアダプタ（チャージャー含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら長時間使用すると BlackBerry 端末やバッテリー・アダプタ（チャージャー含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

BlackBerry 端末の取り扱いについて

警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m 以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

BlackBerry 端末内のドコモ UIM カードや microSD カード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、BlackBerry 端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす原因になります。
なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で BlackBerry 端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用下さい。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っている時などは、必ず BlackBerry 端末を耳から離してください。
またイヤホンマイクを BlackBerry 端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、BlackBerry 端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した BlackBerry 端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

BlackBerry 端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

コンパスやモーションセンサーを使用したアプリケーションのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、BlackBerry 端末をしっかりと握り必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

素材	使用箇所
クロムメッキ	ロックキー、音量アップ・ダウンキー、ミュートキー、サイドキー
ステンレス	ハウジング外周、トラックパッド外周、キーボード境界、バッテリードア上部境界、USB ポート
金メッキ	内部充電端子、ドコモ UIM カード端子、NFC アンテナ接触端子、イヤホン端子、PCB 番号表記
パラジウムメッキ	外部充電端子

指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

バッテリーの取り扱いについて

■バッテリーのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
バッテリーの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

バッテリーを BlackBerry 端末に取り付けるときに、バッテリーの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
バッテリーの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
バッテリーの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
バッテリーの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

バッテリー内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
バッテリーの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

バッテリーが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットがバッテリーに噛みつかないようご注意ください。
バッテリーの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となったバッテリーは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れたバッテリーを使用したり充電したりしないでください。
バッテリーの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

バッテリー内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚にはつけないでください。
失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ（チャージャー含む）の取扱いについて

警告

禁止

アダプタ（チャージャー含む）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（チャージャー含む）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

カーチャージャーはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（チャージャー含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ（チャージャー含む）のコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにアダプタ（チャージャー含む）を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でチャージャーのコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ＡＣアダプタ、チャージャー：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
カーチャージャー：ＤＣ12Ｖ・24Ｖ（マイナスアース車専用）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタ（チャージャー含む）をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタ（チャージャー含む）をコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（チャージャー含む）のコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

ドコモ UIM カードの取扱いについて

注意

指示

ドコモ UIM カードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■　本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には BlackBerry 端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、BlackBerry 端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、BlackBerry 端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、BlackBerry 端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から BlackBerry 端末は 22cm 以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

ホルスター、ポケットの取り扱いについて

注意

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、変形、変色の原因となります。

禁止

磁気カードなどをホルスター、ポケットに近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

素材	使用箇所
合成皮革	ポケット・ホルスター本体
ポリカーボネート	ホルスタークリップ部分

取り扱い上のお願い

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
BlackBerry 端末、バッテリー、アダプタ（チャージャー含む）、ドコモ UIM カードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **BlackBerry 端末やバッテリーなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、バッテリーなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **BlackBerry 端末に添付されている取扱説明書をよくお読みください。**

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

BlackBerry 端末についてのお願い

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は 0℃～40℃、湿度は 35%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で BlackBerry 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **BlackBerry 端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、BlackBerry 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **バッテリーカバーを外したまま使用しないでください。**
バッテリーが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、BlackBerry 端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

バッテリーについてのお願い

■ **バッテリーは消耗品です。**
十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときはバッテリーの交換時期です。指定の新しいバッテリーをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（10℃～30℃）の場所で行ってください。**

■ **初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

■ **バッテリーの使用時間は、使用環境やバッテリーの劣化度により異なります。**

■ **バッテリーの使用条件により、寿命が近づくにつれてバッテリーが若干膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **バッテリーを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。**

・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
バッテリーの性能や寿命を低下させる原因となります。
長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が 2 本または 3 本の状態をお勧めします。

パワープラグ（チャージャー含む）についてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（10℃～30℃）の場所で行ってください。**
■ **次のような場所では、充電しないでください。**
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
■ **充電中、パワープラグ（チャージャー含む）が温かくなることがありますが異常ではありません。そのままご使用ください。**
■ **カーチャージャーを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
■ **抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモ UIM カードについてのお願い

■ **ドコモ UIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**
■ **使用中、ドコモ UIM カードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
■ **他の IC カードリーダライタなどにドコモ UIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
■ **IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
■ **お客様ご自身で、ドコモ UIM カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ **環境保全のため、不要になったドコモ UIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
■ **極端な高温・低温は避けてください。**
■ **IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
■ **ドコモ UIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。
■ **ドコモ UIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。
■ **ドコモ UIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、BlackBerry 端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

ホルスター、ポケットについてのお願い

■ **ケース本体部が汗や水を含んだ場合には、柔らかい布などで軽く拭き、陰干しを行ってください。**
■ **ご使用頻度により色落ちや毛羽立ちする場合があります。**
■ **ベルトなどへ装着し、激しい動作や強い衝撃などを与えると、携帯電話が外に飛び出し、落下、破損する場合がありますのでご注意ください。**

バッテリーカバーについてのお願い

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
濡れた雑巾などで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、色があせたりすることがあります。

Bluetooth 機能を使用する場合のお願い

- **BlackBerry 端末は、Bluetooth を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **BlackBerry 端末では、以下のバージョンとプロファイルに対応したサービスを利用できます。**

対応バージョン	Bluetooth 標準規格 Ver.2.1 準拠※1
対応プロファイル※2	HSP: Headset Profile HFP: Hands-Free Profile SPP: Serial Port Profile DUN: Dial-Up Networking Profile A2DP: Advanced Audio Distribution Profile AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile SAP: SIM Access Profile PBAP: Phone Book Access Profile MAP: Message Access Profile

※1 BlackBerry 端末およびすべての Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 Bluetooth の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ 周波数帯域について

BlackBerry 端末が Bluetooth で使用する周波数帯

2.4　:2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。
FH　:変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
1　:想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
□□□　:2400MHz～2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■Bluetooth 機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、 工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下 「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本製品と 「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」 など電波干渉を避けてください。
- その他、ご不明な点につきましては、本資料記載のお問い合わせ先までお問い合わせください。

無線 LAN（WLAN）についてのお願い

- **電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。**
- **磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。**
- **テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。**
- **近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。**

■ 周波数帯について

WLAN 搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体のバッテリー挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。
①2.4 : 2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。
②DS : 変調方式が DS-SS 方式であることを示します。
③OF : 変調方式が OFDM 方式であることを示します。
④4 : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示します。
⑤■■■ : 2400MHz～2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ **2.4GHz 機器使用上の注意事項**

WLAN 搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局 （免許を要する無線局） が運用されています。

1. この機器を使用する前に、 近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、 速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本冊子「ドコモからのお知らせ」内の 「お問い合わせ先」 までお問い合わせいただき、 混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

注意

■ **改造された BlackBerry 端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
BlackBerry 端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク 」が BlackBerry 端末の銘版シールに表示されております。
BlackBerry 端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ **Bluetooth 機能は日本国内で使用してください。**
BlackBerry 端末の Bluetooth 機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ **無線 LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。**
BlackBerry 端末の無線 LAN 機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

保証とアフターサービス

保証について

●BlackBerry 端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より一年間です。
●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●BlackBerry 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、
パソコンをお持ちの場合は、BlackBerry Desktop Manager と BlackBerry USB Cable Micro,1.2m をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

●BlackBerry 端末の調子が悪い場合

故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。
BlackBerry 端末の調子が悪い場合は、バッテリーカバーを外し、バッテリーを取り外した後で再度装着しなおしてください。その後も調子が悪い場合は、デバイスソフトウェアを BlackBerry 端末にインストールすることにより、BlackBerry 端末が正常な状態になる場合がございます。
デバイスソフトウェアのインストール方法については、ドコモ WEB サイト内の「お客様サポート」（http://www.nttdocomo.co.jp/support/）からご確認ください。

●お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は
・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
・お買い上げ後のディスプレイ・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。
■以下の場合は、修理できないことがあります。
・故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合
・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（ディスプレイ・コネクタなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは
ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間
BlackBerry 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後６年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

お願い
●BlackBerry 端末および付属品の改造はおやめください。
・火災・けが・故障の原因となります。
・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
・接着剤などにより BlackBerry 端末に装飾を施す
・外装などをドコモ純正品以外のものに交換する　など
・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
●BlackBerry 端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
●故障取扱窓口では、BlackBerry 端末内の電話帳など登録されたデータ移行はできません。故障取扱窓口に来店される前に、BlackBerry Desktop Manager のバックアップ機能にてパソコン側へデータを保存していただくことをお勧めします。また、画像撮影した静止画や動画、音楽などのデータは microSD カードに転送・保管していただくことができます。
●各種機能の設定などの情報は、BlackBerry 端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
●修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi 用の MAC アドレスおよび Bluetooth アドレスが変更される場合があります。
●BlackBerry 端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。　使用箇所：スピーカー、トラックパッド
●BlackBerry 端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、BlackBerry 端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて
●お客様ご自身で BlackBerry 端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
●BlackBerry 端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の BlackBerry 端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ドコモのネットワークサービスの利用について

●BlackBerry Bold端末では、以下のネットワークサービスをご利用になれます。各サービスの概要やご利用法については、以下の表または『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編)』をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額利用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
英語ガイダンス	不要	無料

●サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスはご利用できません。
●お申し込み、お問い合わせについては、本書最終ページの「総合お問い合わせ先」までお問い合わせ下さい。
●各サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編)』をご覧ください。

※ネットワーク暗証番号について
ネットワークサービスの設定にはネットワーク暗証番号が必要な場合があります。ネットワーク暗証番号は、ご契約時に任意の番号を設定していただきますがパソコン向け総合サポートサイト「My docomo」からお客様ご自身で番号を変更できます。
＊文中のアイコンは、それぞれBlackBerry端末の本体キーを示します。

①留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

●かかってきた電話に応答しなかった場合には、留守番電話の設定にかかわらず、通話録音には不在着信として記憶され、「不在着信あり」のアイコンがホームスクリーンに表示されます。
●伝言メッセージは、1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
●留守番電話サービスをご利用中に圏外で着信があった場合、留守番電話メッセージと着信をSMSでお知らせします。留守番電話メッセージがない場合は着信のSMSのみ届きます。

おしらせ：BlackBerry端末でご利用になるテーマによっては、留守番電話をホームスクリーンでお知らせします。

■留守番電話サービスを開始する

（1）ホームスクリーンで → 「1411」とダイヤル→
（2）操作が完了したら

■留守番電話サービスを停止する

（1）ホームスクリーンで → 「1410」とダイヤル→
（2）操作が完了したら

■留守番電話サービスセンターの番号を登録する
　留守番電話のメッセージを確認する際に発信する、留守番電話サービスセンターの番号を登録します。

（1）ホームスクリーンで
（2） →「オプション」→「留守番電話」
（3）電話番号にカーソルを合わせて「１４１７」と入力
（4）タッチパッドを押下して表示されたメニューで「保存」を選択

おしらせ：パスワードは設定しないでください。パスワードを設定した場合、正しく動作しなくなる恐れがあります。

■留守番電話のメッセージを確認する
A. 電話で確認する場合
（1）ホームスクリーンで
（2） →「留守番電話を確認」
　　留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
　　　メッセージの再生／保存／消去などを行うには、音声ガイダンスの指示に従ってください。

B. SMS から確認する場合
（1）ホームスクリーンで →「SMS」
（2）メッセージリスト画面で留守番電話の SMS を選択
（3）メッセージ本文の日時（「西暦／月／日　時間　AM／PM」）を反転→ →「留守番電話を確認」
　　留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
　　　メッセージの再生／保存／消去などを行うには、音声ガイダンスの指示に従ってください。
（4）操作が完了したら

■留守番電話サービスを利用/設定する
（1）ホームスクリーンで
（2）以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
保存したメッセージを再生※１／保存／消去する	「１４１６」→ →「１」→音声ガイダンスに従って操作
不在案内※2／留守番電話を切り替える	「１４１６」→ →「９」→「１」→音声ガイダンスに従って操作
応答メッセージを作成／変更する	「１４１６」→ →「９」→「２」→音声ガイダンスに従って操作
発信者番号案内を開始／停止する	「１４１６」→ →「９」→「３」→音声ガイダンスに従って操作
呼出時間を設定する	「１４１９」→ →音声ガイダンスに従って操作

※１ 新しい伝言メッセージがある場合、保存したメッセージよりも先に新しい伝言メッセージが再生されます。
　　新しいメッセージの再生の後に、保存したメッセージを再生することができます。
※２ 電話に出られない事を伝えるガイダンスで応答し、伝言メッセージをお預かりしない機能です。
　　設定変更後に応答メッセージの登録を行います。

（3）操作が完了したら

②キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に電話をかけることもできます。

■キャッチホンを開始する

（1）ホームスクリーンで
（2）→「オプション」→「割込通話」
（3）「しばらくお待ちください」とメッセージが出て「割込通話」画面が表示されたら、チェックボックスにチェックを入れます。
（4） →「保存」

■キャッチホンを停止する

（1）ホームスクリーンで
（2） →「オプション」→「割込通話」
（3）「しばらくお待ちください」とメッセージが出て「割込通話」画面が表示されたら、チェックボックスのチェックを外します。
（4） →「保存」

■通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

（1）通話中に「ププ…ププ…」と聞こえたら

通話中の電話を保留にして、新しい電話にでることができます。

▲通話中の電話を終了して、新しい電話にでる場合
→ →「応答−現在の通話を終了」

▲新しい電話に出ない場合
→

留守番電話サービスをご利用の場合は、新しい電話は留守番電話サービスセンターに接続されます。

（2）最初の相手との通話に切り替える

▲後からかかってきた相手との通話を終了する場合
→ → →「再開」
後からかかってきた相手との通話を終了し、最初の相手との通話に切り替えます。

▲あとからかかってきた相手との通話を保留する場合
→
後からかかってきた相手との通話を保留にし、最初の相手との通話に切り替えます。
を押すたびに、通話の相手を切り替えることができます。

■通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

（１） →通話中に相手先の電話番号にダイヤル

通話中の電話を保留にして、新しい電話を掛けることができます。相手先の番号は、アドレス帳や通話記録を利用してダイヤルすることもできます。

（２）最初の相手との通話に切り替える

▲新しくかけた相手との通話を終了する場合

→ → →「再開」

新しくかけた相手との通話を終了し、最初の相手との通話に切り替えます。

▲新しくかけた相手との通話を保留する場合

→

新しくかけた相手との通話を保留にし、最初の相手との通話に切り替えます。 を押すたびに、通話の相手を切り替えることができます。

③転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないときなどに、電話を転送するサービスです。

※転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話記録には不在着信として記憶され

「不在着信あり」のアイコンがホームスクリーンに表示されます。

■転送でんわサービスを利用／設定する

（１）ホームスクリーンで

（２）以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
転送でんわサービスを開始する	「１４２１」→
転送でんわサービスを終了する	「１４２０」→
転送先の電話番号を登録／変更する	「１４２９」→ →「３」→音声ガイダンスに従って操作
呼出時間を設定する	「１４２９」→ →「１」→音声ガイダンスに従って操作

（３）操作が完了したら

④迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないようにするためのサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手には
ガイダンスで応答します。

※着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また着信履歴にも残りません。

■迷惑電話ストップサービスを利用／設定する

（１）ホームスクリーンで
（２）「１４４」をダイヤル→ →音声ガイダンスに従って操作
（３）操作が完了したら

⑤番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

※番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、通話記録にも記憶されず「不在着信あり」のアイコンも表示されません。

■番号通知お願いサービスを開始する

（１）ホームスクリーンで →「１４８」とダイヤル→
（２）「１」をダイヤル
（３）操作が完了したら

■番号通知お願いサービスを停止する

（１）ホームスクリーンで →「１４８」とダイヤル→
（２）「０」をダイヤル
（３）操作が完了したら

●他のサービスとの競合について

番号通知お願いサービスと他のサービスを同時に開始しているときに非通知設定の着信があった場合は、以下の動作となります。

競合サービス名	動作
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。メッセージはお預かりしていません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。通話中着信音は鳴りません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。転送先には転送されません。
迷惑電話ストップサービス	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。着信拒否登録をしている番号からの着信は、迷惑電話ストップサービスのガイダンスで応答し、電話を切ります。
公共モード（電源 OFF）	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。公共モード（電源 OFF）のガイダンスでは応答しません。
国際ローミング(WORLD WING)	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。海外には転送されません。

⑥公共モード（電源 OFF）

電話を控えたい公共の場所などで電話がかかってきた場合、「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」というガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

■公共モード（電源 OFF）を利用／設定する
（１）ホームスクリーンで
（２）以下の手順に従って操作

サービス内容	操作
公共モード（電源 OFF）を開始する	「*25251」→
公共モード（電源 OFF）を停止する	「*25250」→
公共モード（電源 OFF）の設定を確認する	「*25259」→

（３）操作が完了したら

●他のサービスとの競合について
公共モード（電源 OFF）と他のサービスを同時に開始しているときに着信があった場合は、以下の動作となります。

競合サービス名	動作
留守番電話サービス	公共モード（電源 OFF）のガイダンスで応答し、メッセージをお預かりします。
キャッチホン	公共モード（電源 OFF）には対応しておりません。
転送でんわサービス	公共モード（電源 OFF）のガイダンスで応答し、転送先に転送します。
迷惑電話ストップサービス	公共モード（電源 OFF）のガイダンスで応答し、電源を切ります。 着信拒否登録をしている番号からの着信は、迷惑電話ストップサービスのガイダンスで応答し、電話を切ります。
番号通知お願いサービス	公共モード（電源 OFF）のガイダンスで応答し、電話を切ります。非通知設定の着信の場合は、番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。

⑦英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に変更することができます。

※お知らせ：発信者側と着信者側の両方で本サービスを利用している場合、発信者側の発信時の設定が着信音側の着信設定より優先されます。

■英語ガイダンスを利用／設定する
（１）ホームスクリーンで
（２）「１４５８」とダイヤル→ →音声ガイダンスに従って操作
（３）操作が完了したら

⑧遠隔操作

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

※海外で留守番電話サービスや転送電話サービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を行って下さい。
※公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

■遠隔操作を開始する
（１）ホームスクリーンで
（２）「１５９」とダイヤル→ →「１」
（３）操作が完了したら

■遠隔操作を停止する
（１）ホームスクリーンで
（２）「１５９」とダイヤル→ →「０」
（３）操作が完了したら

⑨通話中着信設定

通話中に着信があった場合に、着信があったことをお知らせするサービスです。

■通話中着信設定を開始する
（１）ホームスクリーンで
（２）「*１４６＃」とダイヤル→
（３）設定が完了すると「１４６*７＃」と表示→「ＯＫ」

■通話中着信設定を停止する
（１）ホームスクリーンで
（２）「＃１４６＃」とダイヤル→
（３）設定が完了すると「１４６*６＃」と表示→「ＯＫ」

おしらせ：留守番電話サービス、転送でんわサービスご契約時には、「通話中着信設定」は「開始」に設定されています。

海外利用について

①国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）は、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やメールなどをご利用いただくものです。

●BlackBerry端末は海外のドコモのローミングエリアで使用できます。エリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
●海外のネットワークには、以下の３種類の通信方式があります。

・3Gネットワーク
世界標準規格である3GPP(3rd Generation Partnership Project)※に準拠した第３世代移動通信方式です。
・GSM(Global System for Mobile Communication)ネットワーク
世界的に最も普及しているデジタル方式の第２世代移動通信方式です。
・GPRS(General Packet Radio Service)ネットワーク
GSM通信方式を利用してGPRSによるパケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動通信方式です。
※第３世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

●海外でBlackBerry端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
・『ご利用ガイドブック（国際サービス編)』
・ドコモの「国際サービスホームページ」

■主要国の国番号について
●国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

②海外で利用できるサービス

●通信事業者や地域によっては利用できないサービスがあります。
●国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて、詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。
●海外でのご利用は日本の料金体系とは異なります。

■表示されるアイコンと利用可能なサービスについて
利用中のネットワークと状態が画面上部のインジケータ表示エリアに表示されます。
インジケータ表示と利用可能なサービスは、次のとおりです。

サービス	3G	3g	GPRS	gprs	GSM
緊急発信	○	○	○	○	○
SMS 送受信	○	○	○	○	○
電話着信／発信	○	○	○	○	○
電子メール PIN メッセージ ブラウザの利用	○	×	○	×	×
音声通話 電子メール ブラウザの同時利用	○	×	×	×	×
PC などと接続して 行うパケット通信	○	×	○	×	×

○：ご利用になれます
×：ご利用になれません

③海外でご利用になる前の確認

●2005 年 9 月 1 日以降に FOMA サービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMA サービスご契約時に不要である旨お申出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
●2005 年 8 月 31 日以前に FOMA サービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方は契約が必要です。
●国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WING 対応のドコモ UIM カード（青色以外）を BlackBerry 端末に取り付けておく必要があります。
●一部、本サービスをご利用になれない料金プランがございます。
●海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合算で請求させていただきます。ただし、海外の通信事業者の都合で請求が 1 ヶ月程度遅れる場合がございます。
●お買い上げ時は、海外で BlackBerry 端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され、滞在先の利用できる通信事業者に設定されます。
設定された通信事業者のサービスエリア外に移動した場合は、自動的に他の利用可能な通信事業者を検索して設定し直されます。接続する通信事業者を手動で設定することもできます。
●「利用可能なネットワーク」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

■充電について
●AC アダプターの取り扱い上のご注意については、同梱の『安全および製品に関する情報』をご覧ください。

■ネットワークサービスについて

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外でも留守番電話サービスや転送でんわサービスなどをご利用できます。

●海外でネットワークサービスを利用する前に、あらかじめ「遠隔操作」を開始しておく必要があります。

●開始／停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合がございます。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

■海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については本書最終ページの「海外での紛失・盗難・精算などについて」または「海外での故障について」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様ご負担となりますので、ご注意下さい。

●国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

※ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意下さい。
※ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみ利用可能です。
※ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合がありますので事前にご確認下さい。（お客様の負担となります）

④滞在先でのご利用

BlackBerry 端末は３Ｇ、GPRS、GSM ローミングエリアでご利用いただけます。海外に到着後、BlackBerry 端末の電源を入れると利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

■ディスプレイの表示・日付・時刻について

●海外利用時は、接続している通信事業者名が画面上段中央に表示されます。

●「日付／時刻」の「タイムゾーンの自動更新」をオンに設定していると、タイムゾーンが自動的に滞在先に切り替わります。
滞在先のタイムゾーンがホームタイムゾーンと異なる場合は、時計画面に両方の時刻が表示されます。

●「日付／時刻」の設定に関係なく、メッセージリストは受信時の日本国内の日付／時刻に基づいて表示されます。

●時刻が現地時間にならない場合は、「日付／時刻」の「時刻設定」を「自動」に設定してください。また、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあり、その間は圏外となる場合があります。

●発信者番号を通知して電話をかけても、利用している通信事業者の事情により「通知不可能」や「非通知」など、相手に正しい番号が表示されない場合があります。また、「番号通知お願いサービス」を利用していても着信する場合が有ります。

■帰国後の設定について

日本に帰国後は、BlackBerry 端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されて FOMA ネットワーク（NTT DOCOMO）に設定されます。
※接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。
「接続管理」から「ネットワークおよび接続」を選択し、「モバイルネットワーク」を選択、メニュー項目でネットワークモードを「３Ｇと２Ｇ」に変更し、「ネットワーク選択モード」を「自動」に設定してください。

⑤海外でのご利用方法

海外から電話をかける

■滞在国内にかける場合
（１）ホームスクリーンで相手先の電話番号を市外局番からそのままダイヤル→

■滞在国外へかける場合
（１）ホームスクリーンで「０」（オー）キーを入力【画面上に「+」が表示されます。】
（２）続けて、国番号→地域番号（市外局番）→相手先の電話番号の順にダイヤル→

おしらせ
・スマートダイヤルに相手先の国番号および地域番号（市外局番）を登録している場合、「+」に続けて相手先の電話番号を入力するだけで電話をかけることができます。
・地域番号（市外局番）が０で始まる場合は、０を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般番号などにかける場合は０が必要です。
・「ホームスクリーンからダイヤル」を「いいえ」に設定しているときに電話をかける場合は、ホームスクリーンでを押してから相手先の電話番号をダイヤルしてください。

海外で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して電話を受けることができます。
■相手からの電話のかけ方について
日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の BlackBerry 端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。
（０９０または０８０）―ＸＸＸＸ―ＸＸＸＸ
■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合
滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号＋「８１」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
国際アクセス番号―８１―９０（または８０）―ＸＸＸＸ―ＸＸＸＸ

おしらせ
・海外ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

海外で留守番電話サービスを利用する

留守番電話サービスについては前項「ドコモのネットワークサービスの利用について」の「①留守番電話サービス」の項をご覧ください。

■留守番電話サービスの設定方法
（１）ホームスクリーンで
（２）以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
留守番電話サービスを開始する	「＋８１―９０３１０－１４１１－０」→ →音声ガイダンスに従い操作
留守番電話サービスを停止する	「＋８１―９０３１０－１４１０－０」→ →音声ガイダンスに従い操作
新しい伝言メッセージを再生する	「＋８１―９０３１０－１４１７－０」→ →音声ガイダンスに従い操作
保存した伝言メッセージを再生する	「＋８１―９０３１０－１４１６－０」→ →音声ガイダンスに従い操作
呼び出し時間を設定する	「＋８１―９０３１０－１４１９－０」→ →音声ガイダンスに従い操作

※新しい伝言メッセージがある場合に、保存したメッセージより先に新しい伝言メッセージが再生されます。新しいメッセージの再生の後に保存したメッセージを再生することができます。

（３）操作が完了したら

海外で転送でんわサービスを利用する

転送でんわサービスの詳細は前項「ドコモのネットワークサービスの利用について」の「③転送でんわサービス」の項をご覧ください。

■転送でんわサービスの設定方法

（１）ホームスクリーンで

（２）以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
転送でんわサービスを開始する	「＋８１―９０３１０－１４２１－０」→ →音声ガイダンスに従い操作
転送でんわサービスを停止する	「＋８１―９０３１０－１４２０－０」→ →音声ガイダンスに従い操作
転送先電話番号を変更する	「＋８１―９０３１０－１４２９－０」→ →音声ガイダンスに従い操作
呼び出し時間を設定する	「＋８１―９０３１０－１４２９－０」→ →音声ガイダンスに従い操作

（３）操作が完了したら

海外で番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願いサービスについては、前項「ドコモのネットワークサービスの利用について」の「⑤番号通知お願いサービス」の項をご覧ください。

■番号通知お願いサービスの設定方法

（１）ホームスクリーンで

（２）「＋８１－９０３１０－１４８０－０」とダイヤル→ →音声ガイダンスに従って操作

（３）操作が完了したら

海外で遠隔操作を利用する

■番号通知お願いサービスの設定方法
（１）ホームスクリーンで
（２）「＋８１－９０３１０－１５９０－０」とダイヤル→ →音声ガイダンスに従って操作
（３）操作が完了したら

⑥海外への発信方法　WORLD CALL

国際電話をかける

■国際電話のかけ方
（１）ホームスクリーンで「０（オー）」キーを押す。【画面に「＋」が表示されます。】
（２）続けて、国番号→市外局番→相手先の電話番号の順にダイヤル→
※国際電話がかかります。

おしらせ
・「０」キーの代わりに「０１０」と入力し、続けて国番号、市外局番、相手先の電話番号の順に入力しても国際電話をかけることができます。
・日本から海外へ国際電話をご利用いただくには、WORLD CALL（ワールドコール）のご契約が必要となります。事前に、ご契約状況をご確認下さい。
・相手側の携帯電話番号または地域番号（市外局番）が０から始まる場合は、０などを除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときには０が必要となる場合があります。
・WORLD CALL（ワールドコール）に関する詳細はドコモのホームページをご覧ください。

⑦国際ローミング設定

利用するネットワークの選択方法を設定する

利用するネットワークを自動的に選択するか、手動で選択するかを設定します。
■ローミング設定方法
（１）ホームスクリーンで「すべて」項目を開く→「接続管理」項目を開く→「ネットワークおよび接続」項目を開く
（２）「モバイルネットワーク」→「ネットワーク選択モード」→以下の項目から選択
選択項目①：自動
ネットワークを自動で選択します。優先的に接続するネットワークを設定することができます。
選択項目②：手動
利用可能なネットワークを手動で選択します。「手動」を選択すると、利用可能なネットワークが自動的に検出され、画面下部に一覧表示されます。
表示の中から、利用するネットワークを選択します。

おしらせ

・利用可能なネットワークを手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が定額でご利用いただけます。
なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。
詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

「ネットワーク選択モード」を自動的に「自動」に戻す

手動で設定したネットワークが利用できない場合に、ネットワークの選択方法を自動的に「自動」に戻すかどうかの設定をします。

■設定方法

（1）ホームスクリーンで「すべて」項目を開く→「接続管理」項目を開く→「ネットワークおよび接続」項目を開く

（2）「モバイルネットワーク」→「手動で選択したネットワークが利用できない場合に自動モードを選択する」で下記項目を設定

選択項目①：確認

ネットワークの選択方法を「自動」に戻すときに、確認のメッセージを表示します。

選択項目②：はい

確認のメッセージを表示せずに「自動」に戻します。

選択項目③：いいえ

「自動」に変更しません。

利用するネットワークの種類を設定する

接続するネットワークの種類を、３Ｇ・２Ｇのみとするか、どちらかを自動で選択するか設定します。

■設定方法

（1）ホームスクリーンで「すべて」項目を開く→「接続管理」項目を開く→「ネットワークおよび接続」項目を開く

（2）「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」を選択

（3）以下の項目から選択

選択項目①：３Ｇ

３Ｇネットワークのみに設定します。

選択項目②：２Ｇ

２Ｇネットワークのみに設定します。

選択項目③：３Ｇと２Ｇ

３Ｇネットワークと２Ｇネットワークを自動的に切り替えます。

おしらせ

・ネットワークモードを「３Ｇと２Ｇ」に選択しておくと、国際ローミング時に特別な設定変更をせずにスムーズにお使いいただけます。
「３Ｇと２Ｇ」に設定しておくことをおすすめいたします。

自動的に選択するネットワークの優先順位を確認／設定する

■a. 優先的に接続するネットワークを確認する
（１）ホームスクリーンで「すべて」項目を開く→「接続管理」項目を開く→「ネットワークおよび接続」項目を開く
（２）「ネットワークおよび接続」画面で「モバイルネットワーク」を選択
「モバイルネットワーク」画面で「利用可能なネットワークをスキャン」ボタンを押す。
優先ネットワークのリスト画面が表示され、登録されているネットワークが優先順位の高い順に一覧表示されます。

■b. ネットワークの優先順位を変更する
（１）a で表示させた優先ネットワークのリスト画面で優先順位を変更したいネットワーク名を反転→
（２）「移動」→優先順位を選択
（３） →「保存」を選択

■c. 接続したいネットワークを登録（追加）する
（１）a で表示させた優先ネットワークのリスト画面で →「ネットワークを追加」→以下の項目より選択してください
選択項目①：既知のネットワークから選択
BlackBerry 端末に登録されているネットワークが一覧表示されます。優先的に接続したいネットワークを、ネットワーク名、ネットワーク種別(2G/3G)の順に選択します。
選択項目②：利用可能なネットワークから選択
利用可能なネットワークを検索し一覧表示させます。優先的に接続したいネットワークを、ネットワーク名、ネットワーク種別(2G/3G)の順に選択します。
選択項目③：手動入力
追加するネットワークを手動で設定します。
（２） →「保存」

国際ローミング中のガイダンス設定

国際ローミング中に電話の着信があったときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すかどうかを設定します。

■ローミングガイダンスを設定する
（１）ホームスクリーンで
（２）「＋８１－９０３１０－１８１６－１」とダイヤル→
（３）操作を完了したら

■ローミングガイダンスを停止する
（１）ホームスクリーンで
（２）「＋８１－９０３１０－１８１６－０」とダイヤル→
（３）操作を完了したら

おしらせ
・日本国内ではローミングガイダンスの設定を行う場合は「１８１６」とダイヤルし、音声ガイダンスに従って操作します。

国際ローミング中の着信規制機能

国際ローミング中に電話の着信があったときに、着信の規制をするかどうかを設定します。

■国際ローミング中の着信を規制する
（１）ホームスクリーンで
（２）「*３５１*」に続けてネットワーク暗証番号、「＃」の順にダイヤル→
※着信規制を停止する場合
→「＃３５１*」に続けてネットワーク暗証番号、「＃」の順にダイヤル→
※現在の設定を確認する場合
→「*＃３５１＃」とダイヤル→
（３）操作を完了したら

⑧ご利用料金について

国際ローミング時のご利用料金は、ご利用になる国、地域、海外通信事業者により異なります。
ご利用料金などについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
「海外で使うときの通話・通信料・サービスエリア検索」http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/area/index.html

⑨国際 SMS について

ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間で送受信が可能です。

●海外の通信事業者を利用している相手の宛先は相手の電話番号の先頭に「＋」、国番号を入力し、相手の電話番号を入力します。（電話番号が「０」で始まる場合は「０」を除いて入力します。）また、「０１０」「国番号」「相手の電話番号」の順に入力しても送信できます。

●海外の通信事業者を利用している相手に SMS を送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編)』などの国際サービスガイドをご覧ください。

おしらせ：

・国際ローミング時に送信されるドコモネットワークからのSMSは、SMS受信拒否設定を行っても受信を拒否できません。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編)』をご覧ください。

国際 SMS を発信する

相手先が海外通信事業者の利用者の場合は、宛先の指定方法が異なります。

■海外通信事業者の利用者へ SMS を送信する場合

「＋」→「国番号」→「最初の０を除いた相手先の番号」の順で指定します。

おしらせ：

・「＋」の代わりに「０１０」とダイヤルしても国際SMSを送信できます。
・SMSを送受信できる海外通信事業者は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）をご覧ください』

国際 SMS の受信拒否について

SMS や、非通知 SMS、国際 SMS の受信を拒否することができます。

※日本国内でのみ設定可能です。

（１）ホームスクリーンで
（２）「＊２０１８４」とダイヤル→ →音声ガイダンスに従って操作
（３）操作が完了したら

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話の比吸収率（SAR）について

この機種【BlackBerry Bold 9900】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。この携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 0.671W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から 1.5 センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法については、平成 22 年 3 月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成 23 年 11 月現在）

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.09 W/kg, and when worn on the body, is 0.76 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://fjallfoss.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID L6ARDY70UW.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "BlackBerry Bold 9900" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.48W/kg, was 1.08W/kg when worn on the body. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff.
If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities.
These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pace makers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other medial Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替および外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration　Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きを
お取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権について

■ **著作権・肖像権について**

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

■ **商標について**

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

・「FOMA」「WORLD CALL」「WORLD WING」はNTTドコモの商標または登録商標です。
・©2011 Research In Motion Limited. All rights reserved. BlackBerry®、RIM®、Research In Motion®、SureType®、および関連する商標、名称、およびロゴは、Research In Motion Limitedの所有物であり、米国、およびその他の国において登録または使用されています。
・microSDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
・Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
・BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
・キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
・その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

＜参考＞本体ヘルプ記載事項と NTT ドコモおよび日本国内でのご利用時の差分

BlackBerry Bold 9900 の本体ヘルプに関しては、世界で統一の記載内容となっており、一部、NTT ドコモの仕様とは差分が発生する部分がございます。
以下に具体的に差分項目を示しますので、内容をご確認下さい。

①NTT ドコモおよび日本国内での制限事項

・電話＞緊急通話
－　日本国内では、SOS 表示での緊急通話はできません。

・電話＞固定ダイヤルとスマートダイヤル
－　固定ダイヤルは使用できません。

・電話＞複数の電話番号
－　「有効な電話番号の切り替え」は利用できません。

・電話＞電話のオプション
－　TTY サポートはご利用できません。

・ボイスコマンド＞利用できるボイスコマンド
－ ボイスコマンドから 110 や 119 の緊急番号に電話をかけることはできません。

・メッセージ＞テキストメッセージ
－セルブロードキャストは日本国内では利用できません。

・メッセージ＞添付ファイル
－ テキストメッセージにファイルを添付することはできません。

・地図＞地図の基本操作
－ 日本国内の、「道順の取得」は利用できません。

・BlackBerry Desktop Software＞WebサイトからのBlackBerry Device Softwareの更新
－ WebサイトからのBlackBerry Device Softwareの更新はご利用できません。

・SIMカード＞SIM カードのPINコードによる保護
－ 日本ではPINコードの入力画面、またはPINコードロック（PUKロック）中には110番/119番/118番の通報はできません。

②別途契約が必要なサービス

・電話＞電話の基本操作
－ 通話の保留、通話中に別の電話に出るには、「キャッチホン」の契約が必要です。

・電話＞留守番電話
－ 留守番電話の利用には、「留守番電話サービス」の契約が必要です。

・電話＞割込通話、着信転送、および着信拒否
－ 割込通話には、「キャッチホン」の契約が必要です。　着信転送には、「転送でんわサービス」のお申し込みが必要です。

③日本語をご利用の際の注意事項

・ファイル＞ファイルの基本操作

－ Excel データを開く場合、ファイル名やシート名に 2 バイト文字が使用されていると、正しく表示されない場合があります。
－日本語の PDF ファイルは正しく表示されない場合があります。

・ブラウザ

－フォントファミリーを「BBJapanese」または「BBJapanese Gothic」以外に設定した場合、日本語が正しく表示されないことがあります。

・入力＞ユーザー辞書

－ 入力言語が英語モードの場合には、ユーザー辞書(英語)、入力言語が日本語の場合はユーザー辞書(日本語)が使用できます。

③SIM カード(ドコモ UIM カード)に関しての補足

※BlackBerry Bold 9900 のメニューやヘルプでは「ドコモ UIM カード」を「SIM カード」と表記しています。

・SIMカード＞SIMカード電話帳について

－ あらかじめ他の端末や携帯電話でドコモUIMカードにアドレス帳を登録し、そのドコモUIMカードをBlackBerry端末に挿入して使用する場合、BlackBerry端末では登録済みのメールアドレスを表示することができません。名前と電話番号のみ表示できます。

・SIMカード＞SIMカードへの連絡先の追加

－ FOMAカード（青色）をご利用の場合は、入力できる名前は全角10文字までの場合があります。11文字以上入力した場合、登録時に「SIMに十分なスペースがありません」と表示され登録できません。

・SIMカード＞SIM カードから連絡先リストへの連絡先のコピー

－ ドコモUIMカードには、ドコモ故障問い合わせなど最初から登録されているアドレス（太字）があります。これらが選択された状態では「すべてをアドレス帳にコピー」のメニューは表示されません。また、上記の登録以外にアドレスの登録がない場合も同様です。
－ FOMA端末本体のアドレス帳に登録済みの電話番号のアドレスは、コピーできません。

・SIMカード＞SIM カードの連絡先の変更または削除

－ ドコモUIMカードに既存で登録されている緊急連絡先などは、削除および編集することはできません。

・SIMカード＞SIM カードのPINコードによる保護

－ 3回誤ったPINコードを入力した場合は、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、PUKコード（PINロック解除コード）でロックを解除してください。また、PUKコードの入力を10回連続して失敗するとドコモUIMカードがロックされます。
－ PINコードで保護している状態で電源をONにすると、「PINコードを入力」が表示されます。
正しいPINコードが入力されると「コードは受け入れられました」と表示され保護は解除されます。
－ PINコード保護を解除していない状態では、「デバイスはロックされています」画面で「緊急」を選択しても、緊急通話はできません。

＜参考＞BlackBerry Bold 9900 本体ヘルプへの追記事項

お使いいただいているBlackBerry Bold 9900では、以下のとおり、本体ヘルプへの補足事項がございます。あらかじめご了承下さい。

●本体機能

①カメラ撮影時の残り撮影可能枚数はあくまで参考値です。実際の撮影可能枚数とは異なることがあります。

②プリインストールされているアプリケーションを削除する際「(アプリケーション名) を削除しますか？後で (アプリケーション名) を復元する場合は、再インストールする必要があります。」と表示されるものに関しては、アプリケーションを削除後に端末初期化を実施した場合は、該当するアプリケーションは自動では復元されませんので、お客様ご自身で各々のダウンロードサイトにアクセスして、該当するアプリケーションをご自分でインストールしていただく必要があります。

③ドコモUIMカードを挿入しないままBlackBerry端末の電源を入れても「SIM Cardを初期化しています…」という表示が数秒程度表示されますが、これは本機の仕様で正常動作となります。

●ソフトウェア機能

①「メディア」にて非表示に設定した内蔵カメラにて撮影したデータが保管されているフォルダを再度表示させるときは、「ファイル」アプリケーションから設定が可能です。具体的な手順は下記のとおりです。

1)「アプリケーション」フォルダ から、「ファイル」アプリケーションを起動
2)「ファイルフォルダ-」 を選択し、該当ファイルが配置されているディレクトリへ移動
3) メニューキーから 「非表示を表示」を選択
4) 該当ファイルをハイライトし、メニューキーから 「プロパティ」 を選択
5) 「非表示」 チェックボックスをクリアし、保存

②「アドレス帳」から名前が日本語で記載された連絡先を選択し、メニューから「連絡先カードを送信」→「メール」を選択して指定メールアドレスに送信すると、相手がBlackBerry以外の端末の場合、文字化けが発生します。これはBlackBerry Internet Serviceの仕様のため、この機能を使用される際は名前をローマ字表記に変更した後、実施してください。

③YouTubeはWi-Fiに接続してご覧ください。

④BlackBerry Bold 9900では「ブラウザー」を起動するとドコモスマートフォンサイトがトップページとして表示されます。お客様のお好みに合わせて「オプション」メニューから変更を実施してください。

⑤「オプション」→「サードパーティアプリケーション」を開くと、デフォルトでは何も表示されていません。こちらは、ダウンロードしていただいたサードパーティ製のアプリケーションがオプションを持っている場合に、オプションのリストを表示致します。

⑥BlackBerry Protectの「Wi-Fi経由でのみバックアップ」をチェックしている状態でWi-Fi接続せず「今すぐバックアップ」を実行するとドコモの携帯電話網を使った通信が発生します。

⑦モバイルホットスポット機能で、自動シャットオフタイマーを15分以外の時間に設定しても、接続時のアラート画面では「デバイスが接続されていない場合セッションは15分後に自動的に終了されます」と表示されますが、実際にはタイマーでの設定時間の後にセッションが終了されます。

⑧端末のメモリがフルに近い状態で、内蔵アプリケーションのWord To Goで文書への画像挿入などのメモリを多量に消費する操作をすると動作が不安定になることがあります。Word To Goで文書編集を行う際は、あらかじめ本体メモリの残量をご確認の上、残り容量が数MB程度は確保されている状態にしてください。

BlackBerry Bold 9900 ヘルプ機能使用方法と取扱説明書ファイルの入手について

■BlackBerry Bold 9900 は端末にヘルプ機能が内蔵されており、操作方法を確認したいアプリケーションを起動し、画面表示している状態で を押し、メニューを表示させ、「ヘルプ」項目を選ぶことで、そのアプリケーションのヘルプを閲覧することができます。

■最新の取扱説明書PDFファイルはNTTドコモWEBサイト（http://www.nttdocomo.co.jp/support/）からダウンロード可能です。

BlackBerry Bold 9900 用の最新の BlackBerry Desktop Software の入手について

■最新の BlackBerry Bold 9900 用 BlackBerry Desktop Software は Research In Motion 社の WEB サイト（http://ap.blackberry.com/jpn/support/downloads/）からダウンロード可能です。

BlackBerry Bold 9900 用の電話帳コピーツール”DENWACHO COPY“のインストールおよび使用方法について

■電話帳コピーツール「DENWACHO COPY」のインストール

（１）ナビゲーションバーの「すべて」を選択し、トラックパッドを押してトレイを開きます。
（２）「DENWACHO COPY」アイコンを選択し、トラックパッドを押します。
（３）同意画面が表示されます。内容を確認し「同意します」を押します。
（４）「ダウンロード」を選択し、ダウンロードを開始します。完了後、「DENWACHO COPY」が起動可能な状態になります。

■電話帳コピーツール”DENWACHO COPY“の使い方

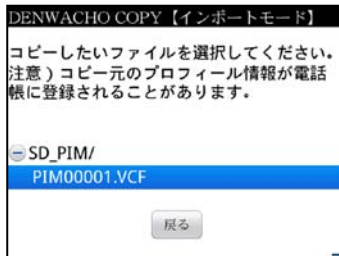
a.電話帳のインポート

1.移行元の携帯電話でアドレス帳の microSD カードへのインポート作業を行います。(方法に関しては各携帯電話機のマニュアルをご参考ください。)

2.電話帳データの入った microSD カードを BlackBerry Bold 9900 に挿入し「DENWACHO COPY」を起動します。

3. 起動後、「インポート」を選択し、microSD カード内データの取り込みを実施します。
※BlackBerry Bold 9900 に登録されている電話帳データをすべて削除し、移行元の電話帳データを登録する「上書登録」と、電話帳のデータを残しつつ、
移行元の電話帳データを追加する「追加登録」の 2 パターンが選択できますので、用途に合わせて選択してください。

DENWACHO COPY【インポートモード】
電話帳の登録方法を選択してください。
上書登録
追加登録
戻る

DENWACHO COPY【インポートモード】
コピーしたいファイルを選択してください。
注意）コピー元のプロフィール情報が電話帳に登録されることがあります。
SD_PIM/
PIM00001.VCF
戻る

4. コピー前の電話帳データ選択画面が表示されますので、BlackBerry Bold 9900 に取り込みたいアドレス帳ファイルを選択し、「次へ」を選択します。

DENWACHO COPY【インポートモード】

電話帳データをコピーしますか？
データが多い場合、処理に時間がかかります。
よろしければ[次へ]を押してください。

ファイル名：PIM00001.VCF

DENWACHO COPY【インポートモード】

電話帳のインポートが完了しました。

登録件数:13件

OK

5. インポートが完了すると、「電話帳のインポートが完了しました。登録件数 XX 件」と表示されます。

b.電話帳のエクスポート

1.「DENWACHO COPY」を起動し、「エクスポート」を選択します。

DENWACHO COPY【エクスポートモード】

コピー先の機種を選択してください。

FOMA

BlackBerry以外のFOMA端末向けにエクスポートします。

BlackBerry

BlackBerry向けにエクスポートします。

戻る 次へ

2.移行先の端末を「FOMA」と「BlackBerry」から選択し、「次へ」を選択します。

DENWACHO COPY【エクスポートモード】

電話帳データをコピーしますか？
データが多い場合、処理に時間がかかります。
よろしければ[次へ]を押してください。

3.「電話帳コピーを実施しますか？」と表示されますので「次へ」を選択します。

DENWACHO COPY【エクスポートモード】

電話帳のエクスポートが完了しました。

ファイル名：PIM00001.VCF

OK

4. エクスポートが完了すると､｢電話帳のエクスポートが完了しました。｣と表示されます。
5. 移行先の端末に microSD カードを挿入し、対象先の端末のマニュアルを参考し、データ移行を実施してください。

BlackBerry Bold 9900 でのテザリング機能の使用方法について

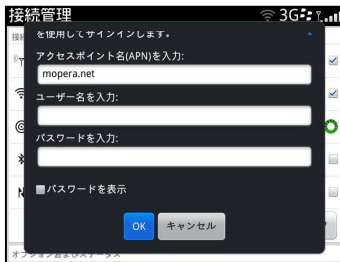
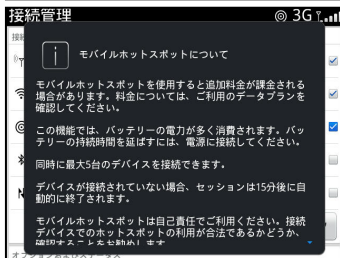
【注意事項】
BlackBerry 端末でテザリング機能を使用するにはお客様に FOMA 通信対応の ISP 契約にご加入の上、接続用 ID とパスワード、接続用 APN をご用意頂く必要があります。
本書では弊社の mopera U※にご加入いただいた場合を想定して手順を記載しています。該当する APN、ユーザ ID、パスワードはお客様がお持ちのものに読み替えて操作してください。
※mopera U の詳細に関しては mopera U の WEB サイト（http://www.mopera.net）をご参考ください。

BlackBerry Bold 9900 でのテザリング機能を使用する際の手順は以下のとおりです。
※詳細項目に関しては端末内蔵ヘルプをご確認ください。

1. メインメニューより「接続管理」を選択します。

2. Wi-Fi がオンになっていない場合はチェックボックスにチェックを入れて Wi-Fi 機能を起動します。

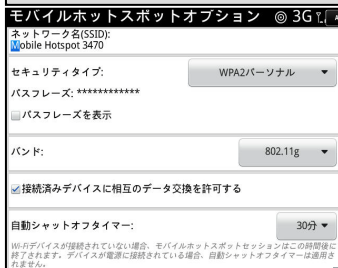
3. モバイルホットスポットのチェックボックスにチェックを入れます。
（モバイルホットスポット機能を終了する際はチェックボックスのチェックを外します）

4. モバイルホットスポットのポップアップ画面が開かれるので
①アクセスポイント名（APN）
②ユーザー名
③パスワード
の項目に、おのおのお客様のお持ちの情報を入力してください。

5. ウインドウを下スクロールさせ、「OK」ボタンを選択します。

6. 接続後表示されるポップアップウインドウを下までスクロールさせ、「OK」を押せば接続完了です。
設定したホットスポット名称を接続対象の端末やPCから選択し、指定のパスワードを入力すれば接続が開始されます。

7. 接続管理メニュー内の「オプションおよびステータス」項目内の、「ネットワークおよび接続」を選択します。

8.「モバイルホットスポット接続」を選択します。

9.「オプション」ボタンを押下します。

モバイルホットスポットオプション
ネットワーク名(SSID):
Mobile Hotspot 3470
セキュリティタイプ: WPA2パーソナル
パスフレーズ: ************
パスフレーズを表示
バンド: 802.11g
接続済みデバイスに相互のデータ交換を許可する
自動シャットオフタイマー: 30分
Wi-Fiデバイスが接続されていない場合、モバイルホットスポットセッションはこの時間後に終了されます。デバイスが電源に接続されている場合、自動シャットオフタイマーは適用されません。

10.「モバイルホットスポットオプション」項目が表示されるので、お客様の要望に応じて各項目の設定値を変更してください。
変更後、本体の「戻る」キーを押すと「保存」､「破棄」､「キャンセル」が表示されるので「保存」を選べば変更内容が反映されます。

お問い合わせ先

■総合お問い合わせ先　＜ドコモ　インフォメーションセンター＞

ドコモの携帯電話からの場合　（局番なしの）１５１　（一般電話などからの場合　０１２０－８００－０００）＜無料＞

受付時間：午前９：００～午後８：００（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

■故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話からの場合　（局番なしの）１１３　（一般電話などからの場合　０１２０－８００－０００）＜無料＞

受付時間：２４時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

■海外での紛失、盗難、精算などについて　＜ドコモ　インフォメーションセンター＞（２４時間受付）

・ドコモの携帯電話からの場合

（「＋」を画面表示）－８１－３－６８３２－６６００　※（無料）

・一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号－８０００１２０－０１５１　※

※滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

■海外での故障について　＜ネットワークオペレーションセンター＞（２４時間受付）

・ドコモの携帯電話からの場合

（「＋」を画面表示）－８１－３－６７１８－１４１４　※（無料）

・一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号－８００５９３１－８６００　※

※滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたBlackBerry端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。